

## 会議録要旨

(令和2年度第1回 一宮市入札監視委員会定例会議)

### [入札・契約手続の運用状況等の報告]

令和元年度下半期における発注工事について、事務局から入札方式別発注工事総括表等により報告があった。

#### ・主な質疑

質問・意見	回答（要旨）
・1つの事案で2回不調となった場合は、1件として数えているのか、2件として数えているのか。	・2件として数えている。

### [検討事案抽出の報告・確認]

抽出担当委員より、10月から3月までの発注工事の中から、まちづくり部及び上下水道部の事案について抽出した旨、報告された。

### [抽出事案に関する説明及び検討]

○西島町5丁目地内ほか配水管改良工事

#### ・主な質疑

質問・意見	回答（要旨）
・今回の入札参加者は4者で、もう少し参加者があってもいいのではないかと感じるが、それについてどう考えているか。	・JV（共同企業体）で発注する工事が一宮市では少ないので、やむを得ないのではないかと考える。ちなみに、前回のJV案件の参加者は3者だった。
・工事終了後に業者の瑕疵が見つかることも考えられるので、継続企業の確認という意味で、民間の信用情報等を活用していないのか。	・活用していない。業者の財務状況が健全かどうかは、経営事項審査の総合評定値の中に含まれているという認識である。

○佐野高屋地内 樋門改良工事

#### ・主な質疑

質問・意見	回答（要旨）
-------	--------

<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の積算の内訳と、業者の積算の内訳に大きな違いがあり違和感を覚えるが、そういう点は落札者の決定において何か考慮するのか。</li> <li>・今回の入札で辞退者が多かった原因は何か把握しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落札者の決定においては、積算の内訳は活用しておらず、合計額のみで決定している。</li> <li>・施工体制が整わない、下請が確保できない、技術者が配置できないという人的な理由が3者で、積算したら予定価格を上回ったという金銭的な理由が3者であった。</li> </ul>
---	---

○朝日荘浴室設備改修工事

・主な質疑

質問・意見	回答（要旨）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常は、入札を2回行って2回とも不調の場合に次の手として随意契約を選択するという対応であったと思うが、本件は入札を1回しかやっていないが、それはなぜか。</li> <li>・施設が古いと、突然、設備等が壊れて修繕要求が出て、予算の手続き等でタイムラグが発生し、施設利用者とトラブルになることはないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本来であれば、1回目の入札が不調になったら、入札参加条件や仕様を見直して再入札するが、本件については再入札をすると工期が確保できなくなり、それにより補助金が活用できなくなってしまうため、随意契約を選択した。</li> <li>・大きな修繕であればタイムラグが発生してしまうが、小さな修繕であれば施設を管理している担当課が持っている修繕予算で緊急対応している。</li> </ul>

[検討結果のまとめ]

○検討結果

次の点について委員会より要望があった。

- ・施設の維持管理については、計画を立てて改修等の入札がスムーズに行えるよう検討されたい。
- ・インフラの寿命が非常に長いことを勘案して、工事を行う業者が対応できるかという信用情報なども活用して入札にあたることを検討されたい。

以上